

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7706	(H.24)No.	7706
-----------	------	-----------	------

事務事業名 公共下水道整備事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道建設室	中 和樹	63-7812
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 11 年度 ~ 平成 年度	都市計画法・下水道法・浄化槽法等	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施 策	1	下水道等
	小 施策	1	公共下水道の整備
重点施策コード 4-5. 下水道事業の計画的な推進			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	661801
公共下水道事業特別会計	(中事業名)	
款 公共下水道事業費	公共下水道整備事業	
項 公共下水道事業費	(小事業名)	
目 建設費	公共下水道整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>中央処理区及び南部処理区を合わせた全事業費618億円の内、平成24年度は約9.2億円の投資事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名張地区面整備、住宅団地接続幹線管工事及び詳細設計 ・住宅団地管路施設老朽化に対して、長寿命化対策を含めた改築事業実施 	

めざす効果(事業目的)
<p>公共下水道の整備により、市民の快適な生活環境の創造と公共水域の水質保全を目的としています。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	現在の実施手法(複数選択可)		
	H.22年度繰越分 誤記訂正 148,041 148,042千円 H.24.8.28		・名張地区面整備に伴う詳細設計、及び住宅団地への接続幹線管渠詳細設計等 146,200千円		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
	H.23年度現年分 308,269 383,493千円		・名張地区面整備、及び住宅団地の接続幹線管渠工事等 570,200千円		補助金・交付金	その他 ()	
	・名張地区面整備に伴う詳細設計、面整備工事、及び住宅団地(桔梗が丘)管路施設の老朽化に対する長寿命化対策を含めた改築事業実施		・住宅団地(桔梗が丘) 管路施設の老朽化に対する長寿命化対策を含めた改築事業実施 119,100千円				
H.24年度への繰越明許費 280,114千円		・他事務費等					
名張地区面整備(中町・元町・木屋町外)							
	308,269千円				平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	(148,041千円) 308,889千円	840,310千円	1,324,250千円	1,249,050千円	1,228,100千円		
財源内訳(千円)							
国庫支出金	(66,569) 143,001 143,304	367,900	605,450	553,950	544,500		
県支出金	(0千円) 0	0					
地方債	(69,400千円) 148,200	387,500	614,100	593,200	584,000		
その他(負担金)	1,033 4,323	39,800	64,300	60,500	59,600		
一般財源	(12,073) 16,035 46,065	45,110	40,400	41,400	40,000		
人工数							
職員	6.20人	6.00人	6.00人	6.00人	6.00人		
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人		
概算人件費	(0千円) 45,260千円	43,800千円	43,800千円	43,800千円	43,800千円		
+ 総事業費	(148,041千円) 354,149千円	353,529千円	884,110千円	1,368,050千円	1,292,850千円	1,271,900千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	公共下水道を利用できる市民の割合 (人口普及率)	%	-	-	-	26.0
	実績			15.8	16.1	16.7	16.9
活動指標	目標	公共下水道に接続している人口	人	-	-	-	21,250
	実績			11,344	11,778	12,466	12,920
活動指標	目標	BOD値シャックリ川 町田橋(年平均)	mg/ℓ	-	-	-	2.7
	実績			3.0	2.3	1.9	1.9

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
<p>地域の实情に配慮した施工、住宅団地汚水施設所有者との接続合意形成に時間を要する。また、国費事業のシーリング等を踏まえると事業延伸が避けられない状況にある。</p>	<p>更なる、公共下水道の普及拡大の促進、効率的で健全な公共下水道経営を図る。</p>

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<p>公共下水道整備が社会資本整備総合交付金(水の安全・安心基盤整備)による事業になり、整備計画の成果目標、定量的指標を公開していくことから、今後も公共下水道整備によるアウトカム効果を図ります。</p>	<p>名張地区市街地は下水道未整備であり、また、大規模住宅団地の汚水処理施設は老朽化が進んでいることから、それぞれの地域住民から公共下水道の整備が要望されています。</p>

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
<p>(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる</p>	<p>外部(技術センター・コンサルタント)へ業務委託等により事業の進捗を図っていく。</p>
<p>(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる</p>	<p>下水道整備に合わせ水道の管路改築更新整備を図っていく。</p>
<p>(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある</p>	<p>「社会資本整備総合交付金」に係る「効果促進事業」の活用をしていく。</p>
<p>(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある</p>	<p>住宅団地汚水処理場区域の公共下水道への接続移管及び公共管理。</p>
<p>(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み</p>	<p>下水道整備マスタープラン、全体計画に反映済み。</p>
<p>(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる</p>	<p>未接続への普及促進のPR及び支援。</p>

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

<p>[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)</p>
<p>「継続(現行)」の場合のみ理由を記載</p>
<p>「社会資本整備総合交付金」(水の安全・安心基盤整備)に係る5ヶ年の整備計画に基づき、事業実施をしていきます。</p>

特記事項